

1. 2. 3. 4.

あたまさ めとちら なえちば る世はひ みのわつ ちたれよ ちからう めらをの あとあす

いみがべ にはなて まもうを もたたわ らねめれ るどにら わにそい れちのの らよひり のうとも さのりて

いかごち わてをち いにばに かつあう ぎねたち りにえあ もみたけ なたまま けさえつ れるばん みすすみ

ちべべち ちててち ををは い続^すわよ まべれろ せたらこ ばうに とあたわ ぼいまれ しのわら



あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの
 良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめ
 るようにしなさい。 マタイ 5:16
 あなたがわたしを愛されたように、彼らをお愛しになった
 ことを、世が知るためであります。 ヨハネ 17:23

5

み父の心は 主にありいかに
 ひら わざわ
 われらに開かる！ 災いのおり
 のが
 み父の心に 人は逃れて
 いこ
 やすらに憩う。

6

われら死と墓を はか た 絶えておそれず
 み父がわれらを よ 呼びたもうとき
 よろこび御父の むか 迎えたまえる
 いえ いそ
 家に急がん。

7

み父はわれらを 愛したまえば
 た み
 すべてにて足れり。 まことに満つる
 み父をわれらも こころのかぎり
 愛しまつらん。